

[Summary]

Photographs of ONOE Kikugoro V
in Stage Attire
in the Collection of the Department of
Performing Arts

IJIMA Mitsuru and UMETADA Misa

The Department of Performing Arts of the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo has a collection of 413 items (415 photographs) of ONOE Kikugoro V in full stage attire. Photographs of ONOE Kikugoro V have been published in a book of photographs entitled *Onoe Kikugoro V* (1935), but the photographs in the Department's collection contain 9 that are not found in this book. It is quite rare for a multiple number of photographs that have not been introduced previously to be confirmed. An inventory has been made and is publicized in the hope that it may be utilized widely for research.



* [285] 未収録 〈8〉



* [329] 未収録 〈9〉



* [335] 未収録 〈10〉



* [415] 未収録 〈11〉



* [201] 未収録 <6>



[266] 『五世尾上菊五郎』 140-6



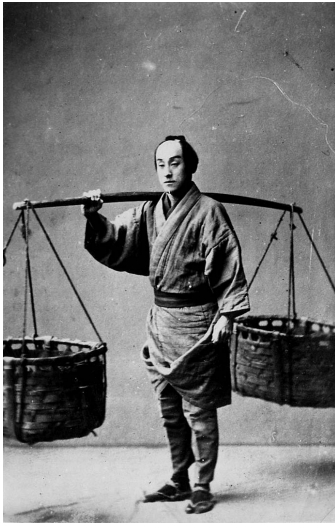
* [267] 未収録 <7>



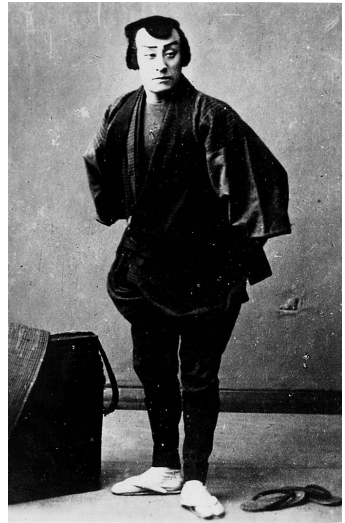
[146] 『五世尾上菊五郎』 111-1



* [148] 未収録 <3>



* [155] 未収録 <4>



* [187] 未収録 <5>



[79] 『五世尾上菊五郎』 90-3



[80] 『五世尾上菊五郎』 90-3



* [119] 未収録 〈1〉



* [130] 未収録 〈2〉

[389]	093-2	明治34・6	歌舞伎座『源平布引瀧』	斎藤実盛
[390]	093-3	明治34・6	歌舞伎座『源平布引瀧』	斎藤実盛
[391]	093-5	明治34・6	歌舞伎座『源平布引瀧』	斎藤実盛
[392]	093-6	明治34・6	歌舞伎座『源平布引瀧』	斎藤実盛
[393]	093-7	明治34・6	歌舞伎座『源平布引瀧』	斎藤実盛
[394]	064-2	明治34・7	歌舞伎座『伊勢音頭恋寝刃』	福岡貢
[395]	064-8	明治34・7	歌舞伎座『伊勢音頭恋寝刃』	福岡貢
[396]	067-2	明治34・7	歌舞伎座『桶狭間鳴海軍談』	郡幸内
[397]	067-3	明治34・7	歌舞伎座『桶狭間鳴海軍談』	郡幸内
[398]	067-4	明治34・7	歌舞伎座『桶狭間鳴海軍談』	郡幸内
[399]	061-4	明治34・10	歌舞伎座『恋湊博多諷』	小松屋宗七
[400]	061-5	明治34・10	歌舞伎座『恋湊博多諷』	小松屋宗七
[401]	061-6	明治34・10	歌舞伎座『恋湊博多諷』	小松屋宗七
[402]	162-1	明治34・10	歌舞伎座『芳哉義士誉』	堀内伝右衛門
[403]	162-2	明治34・10	歌舞伎座『寿靱猿』	猿引
[404]	162-3	明治34・10	歌舞伎座『寿靱猿』	猿引
[405]	162-5	明治34・10	歌舞伎座『蜘蛛舞』	源頼光
[406]	162-6	明治34・10	歌舞伎座『蜘蛛舞』	源頼光
[407]	003-8	明治34・11	歌舞伎座『伽羅先代萩』	細川勝元
[408]	163-3	明治35・5	歌舞伎座『葵上功隈取』	山中平九郎
[409]	163-4	明治35・5	歌舞伎座『葵上功隈取』	山中平九郎
[410]	163-5	明治35・5	歌舞伎座『葵上功隈取』	山中平九郎
[411]	163-6	明治35・5	歌舞伎座『葵上功隈取』	山中平九郎
[412]	163-7	明治35・5	歌舞伎座『葵上功隈取』	山中平九郎
[413]	163-9	明治35・5	歌舞伎座『葵上功隈取』	山中平九郎
[414]	160-5	明治35・10	歌舞伎座『人情嘶文七元結』	左官長兵衛
*[415]	<11>	未詳	未詳	未詳

- [361] 070-6 明治33・3 歌舞伎座『夜討曾我狩場曙』曾我十郎
- [362] 070-7 明治33・3 歌舞伎座『夜討曾我狩場曙』曾我十郎
- [363] 070-8 明治33・3 歌舞伎座『夜討曾我狩場曙』曾我十郎
- [364] 051-7 明治33・4 歌舞伎座『天衣紛上野初花』片岡直次郎
- [365] 051-9 明治33・4 歌舞伎座『天衣紛上野初花』河内山宗俊
- [366] 136-2 明治33・4 歌舞伎座『義経千本桜』 狐忠信
- [367] 080-5 明治33・10 歌舞伎座『信長記愛宕連歌』織田信長
- [368] 109-1 明治33・10 歌舞伎座『鬼一法眼三略巻』虎蔵実は牛若丸
- [369] 109-3 明治33・10 歌舞伎座『鬼一法眼三略巻』虎蔵実は牛若丸
- [370] 109-4 明治33・10 歌舞伎座『鬼一法眼三略巻』虎蔵実は牛若丸
- [371] 109-5 明治33・10 歌舞伎座『鬼一法眼三略巻』虎蔵実は牛若丸
- [372] 109-6 明治33・10 歌舞伎座『鬼一法眼三略巻』虎蔵実は牛若丸
- [373] 158-1 明治33・10 歌舞伎座『小夜時雨天網島』紙屋治兵衛
- [374] 158-2 明治33・10 歌舞伎座『小夜時雨天網島』紙屋治兵衛
- [375] 158-3 明治33・10 歌舞伎座『小夜時雨天網島』紙屋治兵衛
- [376] 158-4 明治33・10 歌舞伎座『小夜時雨天網島』紙屋治兵衛
- [377] 159-1 明治34・1 歌舞伎座『増補玉藻前』 鷲塚金藤次
- [378] 159-2 明治34・1 歌舞伎座『増補玉藻前』 鷲塚金藤次
- [379] 159-3 明治34・1 歌舞伎座『増補玉藻前』 鷲塚金藤次
- [380] 038-6 明治34・3 歌舞伎座『黄門記童幼講釈』藤井紋太夫
- [381] 160-1 明治34・3 歌舞伎座『大徳寺焼香』 柴田修理亮勝家
- [382] 019-3 明治34・5 歌舞伎座『六歌仙』 文屋康秀
- [383] 019-4 明治34・5 歌舞伎座『六歌仙』 喜撰法師
- [384] 019-5 明治34・5 歌舞伎座『六歌仙』 喜撰法師
- [385] 019-6 明治34・5 歌舞伎座『六歌仙』 喜撰法師
- [386] 019-7 明治34・5 歌舞伎座『六歌仙』 喜撰法師
- [387] 161-3 明治34・5 歌舞伎座『山門五三桐』 真柴久吉
- [388] 093-1 明治34・6 歌舞伎座『源平布引瀧』 斎藤実盛

- [333] 082-7 明治32・1 歌舞伎座『操三番叟』 三番叟
- [334] 152-4 明治32・1 歌舞伎座『敵討護持院ヶ原』 殿様金太
- *[335] <10> 明治32・1 歌舞伎座『敵討護持院ヶ原』 殿様金太
- [336] 152-5 明治32・1 歌舞伎座『敵討護持院ヶ原』 遠山金四郎
- [337] 050-1 明治32・3 歌舞伎座『菅原伝授手習鑑』 武部源蔵
- [338] 050-3 明治32・3 歌舞伎座『菅原伝授手習鑑』 武部源蔵
- [339] 101-1 明治32・4 歌舞伎座『勸進帳』 富樫左衛門
- [340] 101-2 明治32・4 歌舞伎座『勸進帳』 富樫左衛門
- [341] 101-4 明治32・4 歌舞伎座『勸進帳』 富樫左衛門
- [342] 124-4 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 定高
- [343] 124-7 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 定高
- [344] 125-1 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 鱧七
- [345] 125-2 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 鱧七
- [346] 125-3 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 鱧七
- [347] 125-5 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 鱧七
- [348] 125-7 明治32・4 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 鱧七
- [349] 131-9 明治32・5 歌舞伎座『義経腰越状』 泉三郎
- [350] 153-2 明治32・5 歌舞伎座『左小刀』 左甚五郎
- [351] 155-2 明治32・11 新富座 『紅葉狩』 平維茂
- [352] 155-4 明治32・11 新富座 『紅葉狩』 平維茂
- [353] 155-5 明治32・11 新富座 『紅葉狩』 平維茂
- [354] 155-6 明治32・11 新富座 『紅葉狩』 平維茂
- [355] 156-2 明治33・1 歌舞伎座『成田道初音藪原』 大工政五郎
- [356] 156-3 明治33・1 歌舞伎座『成田道初音藪原』 大工政五郎
- [357] 156-8 明治33・1 歌舞伎座『成田道初音藪原』 藪原檢校
- [358] 157-1 明治33・1 歌舞伎座『闇梅百物語』 傘の一本足の怪
- [359] 157-2 明治33・1 歌舞伎座『闇梅百物語』 傘の一本足の怪
- [360] 157-3 明治33・1 歌舞伎座『闇梅百物語』 読売菊八

- [305] 146-6 明治31・3 歌舞伎座『新版歌祭文』 善六
- [306] 147-1 明治31・3 歌舞伎座『桃桜雛段幕』 桜木左近
- [307] 147-2 明治31・3 歌舞伎座『桃桜雛段幕』 桜木左近
- [308] 148-1 明治31・5 歌舞伎座『鏡山故郷錦』 お初
- [309] 148-3 明治31・5 歌舞伎座『鏡山故郷錦』 お初
- [310] 148-4 明治31・5 歌舞伎座『鏡山故郷錦』 お初
- [311] 148-5 明治31・5 歌舞伎座『鏡山故郷錦』 お初
- [312] 148-6 明治31・5 歌舞伎座『鏡山故郷錦』 お初
- [313] 149-1 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [314] 149-2 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [315] 149-3 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [316] 149-4 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [317] 149-5 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [318] 149-6 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [319] 149-8 明治31・5 歌舞伎座『江戸育御祭佐七』 お祭佐七
- [320] 017-8 明治31・6 歌舞伎座『音聞天竺徳兵衛』 斯波左衛門義照
- [321] 090-4 明治31・10 歌舞伎座『一谷嫩軍記』 小次郎直家
- [322] 090-7 明治31・10 歌舞伎座『一谷嫩軍記』 小次郎直家
- [323] 090-8 明治31・10 歌舞伎座『一谷嫩軍記』 小次郎直家
- [324] 147-3 明治31・10 歌舞伎座『油坊主闇夜墨染』 平忠盛
- [325] 150-1 明治31・10 歌舞伎座『其倂廓鞘当』 名古屋山三
- [326] 150-2 明治31・10 歌舞伎座『其倂廓鞘当』 名古屋山三
- [327] 150-3 明治31・10 歌舞伎座『其倂廓鞘当』 名古屋山三
- [328] 150-5 明治31・10 歌舞伎座『其倂廓鞘当』 名古屋山三
- *[329] <9> 明治31・10 歌舞伎座『其倂廓鞘当』 名古屋山三
- [330] 151-2 明治31・10 歌舞伎座『比翼塚尾花寺西』 寺西関心
- [331] 151-3 明治31・10 歌舞伎座『比翼塚尾花寺西』 寺西関心
- [332] 082-6 明治32・1 歌舞伎座『操三番叟』 三番叟

- [277] 023-9 明治29・7 歌舞伎座『形見草四谷怪談』 お岩
- [278] 024-5 明治29・7 歌舞伎座『形見草四谷怪談』 直助権兵衛
- [279] 042-3 明治30・2 歌舞伎座『積恋雪関扉』 墨染桜の精
- [280] 042-4 明治30・2 歌舞伎座『積恋雪関扉』 墨染桜の精
- [281] 042-5 明治30・2 歌舞伎座『積恋雪関扉』 墨染桜の精
- [282] 084-1 明治30・2 歌舞伎座『羅漢』 羅漢
- [283] 084-2 明治30・2 歌舞伎座『羅漢』 羅漢
- [284] 084-3 明治30・2 歌舞伎座『羅漢』 伶人羅陵王
- *[285] 〈8〉 明治30・2 歌舞伎座『羅漢』 伶人羅陵王
- [286] 085-2 明治30・2 歌舞伎座『五十三次扇宿附』 老婆おつた実は怪猫
- [287] 009-2 明治30・6 歌舞伎座『裏表忠臣蔵』 塩谷判官
- [288] 009-3 明治30・6 歌舞伎座『裏表忠臣蔵』 塩谷判官
- [289] 009-6 明治30・6 歌舞伎座『裏表忠臣蔵』 塩谷判官
- [290] 110-4 明治30・6 歌舞伎座『忠臣いろは実記』 清水一角
- [291] 110-5 明治30・6 歌舞伎座『忠臣いろは実記』 清水一角
- [292] 110-6 明治30・6 歌舞伎座『忠臣いろは実記』 清水一角
- [293] 102-2 明治30・7 歌舞伎座『保名狂乱』 安倍保名
- [294] 102-3 明治30・7 歌舞伎座『保名狂乱』 安倍保名
- [295] 102-4 明治30・7 歌舞伎座『保名狂乱』 安倍保名
- [296] 143-2 明治30・7 歌舞伎座『網模様灯籠菊桐』 小猿七之助
- [297] 143-6 明治30・7 歌舞伎座『網模様灯籠菊桐』 小猿七之助
- [298] 144-7 明治31・1 歌舞伎座『捨小舟万大注連』 皮林育堂
- [299] 145-5 明治31・2 歌舞伎座『羽衣』 天津乙女
- [300] 004-5 明治31・3 歌舞伎座『裏表春着伊達織』 八汐
- [301] 005-4 明治31・3 歌舞伎座『裏表春着伊達織』 足利頼兼
- [302] 146-1 明治31・3 歌舞伎座『染模様梅田舎家』 久作
- [303] 146-2 明治31・3 歌舞伎座『染模様梅田舎家』 久作
- [304] 146-4 明治31・3 歌舞伎座『新版歌祭文』 人形遣い

- [249] 137-4 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 源九郎狐
- [250] 138-1 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 横川覚範
- [251] 138-3 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 能登守教経
- [252] 047-5 明治29・3 明治座 『菅原伝授手習鑑』 松王丸
- [253] 048-1 明治29・3 明治座 『菅原伝授手習鑑』 松王丸
- [254] 048-3 明治29・3 明治座 『菅原伝授手習鑑』 松王丸
- [255] 048-5 明治29・3 明治座 『菅原伝授手習鑑』 松王丸
- [256] 139-1 明治29・3 明治座 『猿廻門途の一諷』 与次郎
- [257] 139-2 明治29・3 明治座 『猿廻門途の一諷』 与次郎
- [258] 139-3 明治29・3 明治座 『猿廻門途の一諷』 与次郎
- [259] 139-5 明治29・3 明治座 『猿廻門途の一諷』 与次郎
- [260] 058-3 明治29・4 明治座 『新皿屋敷月雨暈』 おつた
- [261] 058-4 明治29・4 明治座 『新皿屋敷月雨暈』 おつた
- [262] 058-5 明治29・4 明治座 『新皿屋敷月雨暈』 おつた
- [263] 058-6 明治29・4 明治座 『新皿屋敷月雨暈』 おつた
- [264] 059-3 明治29・4 明治座 『新皿屋敷月雨暈』 魚屋宗五郎
- [265] 140-5 明治29・4 明治座 『明智光俊誉乗切』 明智左馬之助光俊
- [266] 140-6 明治29・4 明治座 『明智光俊誉乗切』 明智左馬之助光俊
- *[267] <7> 明治29・4 明治座 『明智光俊誉乗切』 明智左馬之助光俊
- [268] 141-1 明治29・5 明治座 『箱書付魚屋茶碗』 蝮の次郎吉
- [269] 141-3 明治29・5 明治座 『箱書付魚屋茶碗』 蝮の次郎吉
- [270] 141-4 明治29・5 明治座 『箱書付魚屋茶碗』 蝮の次郎吉
- [271] 142-1 明治29・6 歌舞伎座 『田舎源氏露東雲』 東雲
- [272] 142-4 明治29・6 歌舞伎座 『田舎源氏露東雲』 東雲
- [273] 023-2 明治29・7 歌舞伎座 『形見草四谷怪談』 お岩
- [274] 023-5 明治29・7 歌舞伎座 『形見草四谷怪談』 お岩
- [275] 023-7 明治29・7 歌舞伎座 『形見草四谷怪談』 お岩
- [276] 023-8 明治29・7 歌舞伎座 『形見草四谷怪談』 お岩

- [221] 129-2 明治28・4 新富座 『松竹梅湯島掛額』 土左衛門伝吉
- [222] 010-3 明治28・10 新富座 『青砥稿花紅彩画』 弃天小僧
- [223] 010-4 明治28・10 新富座 『青砥稿花紅彩画』 弃天小僧
- [224] 010-5 明治28・10 新富座 『青砥稿花紅彩画』 弃天小僧
- [225] 011-2 明治28・10 新富座 『青砥稿花紅彩画』 弃天小僧
- [226] 049-b 明治28・10 新富座 『菅原伝授手習鑑』 梅王丸
- [227] 049-c 明治28・10 新富座 『菅原伝授手習鑑』 梅王丸
- [228] 049-d 明治28・10 新富座 『菅原伝授手習鑑』 梅王丸
- [229] 108-4 明治28・10 新富座 『鬼一法眼三略卷』 智恵内
- [230] 108-5 明治28・10 新富座 『鬼一法眼三略卷』 智恵内
- [231] 130-1 明治28・10 新富座 『八犬伝隅田高樓』 犬田小文吾
- [232] 130-2 明治28・10 新富座 『指物師名人長次』 指物師長次
- [233] 130-3 明治28・10 新富座 『指物師名人長次』 指物師長次
- [234] 130-4 明治28・10 新富座 『指物師名人長次』 指物師長次
- [235] 130-5 明治28・10 新富座 『指物師名人長次』 指物師長次
- [236] 131-1 明治28・10 新富座 『義経腰越状』 五斗兵衛
- [237] 131-3 明治28・10 新富座 『義経腰越状』 五斗兵衛
- [238] 131-4 明治28・10 新富座 『義経腰越状』 五斗兵衛
- [239] 131-5 明治28・10 新富座 『義経腰越状』 五斗兵衛
- [240] 132-1 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 狐忠信
- [241] 132-3 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 狐忠信
- [242] 132-4 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 狐忠信
- [243] 132-6 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 狐忠信
- [244] 133-1 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 いがみの権太
- [245] 133-5 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 いがみの権太
- [246] 135-2 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 いがみの権太
- [247] 136-4 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 源九郎狐
- [248] 137-3 明治29・1 明治座 『義経千本桜』 源九郎狐

- [193] 123-3 明治27・3 歌舞伎座『都鳥廓白浪』 忍の惣太
- [194] 123-4 明治27・3 歌舞伎座『都鳥廓白浪』 忍の惣太
- [195] 123-5 明治27・3 歌舞伎座『都鳥廓白浪』 忍の惣太
- [196] 123-6 明治27・3 歌舞伎座『都鳥廓白浪』 忍の惣太
- [197] 124-1 明治27・3 歌舞伎座『妹背山婦女庭訓』 定高
- [198] 126-1 明治27・7 市村座 『新門辰巳小金井』 小金井小次郎
- [199] 126-3 明治27・7 市村座 『新門辰巳小金井』 小金井小次郎
- [200] 126-4 明治27・7 市村座 『鈴音真似操』 足長の人形
- *[201] <6> 明治27・7 市村座 『鈴音真似操』 足長の人形
- [202] 126-6 明治27・7 市村座 『鈴音真似操』 道化師の人形
- [203] 126-7 明治27・7 市村座 『鈴音真似操』 道化師の人形
- [204] 127-2 明治27・11 歌舞伎座『海陸連勝日章旗』 尾淵中将
- [205] 127-4 明治27・11 歌舞伎座『けいせい反魂香』 おとく
- [206] 127-6 明治27・11 歌舞伎座『けいせい反魂香』 おとく
- [207] 128-2 明治28・1 新富座 『粟田口鑑定折紙』 小森新之丞
- [208] 128-3 明治28・1 新富座 『粟田口鑑定折紙』 小森新之丞
- [209] 128-4 明治28・1 新富座 『粟田口鑑定折紙』 小森新之丞
- [210] 128-5 明治28・1 新富座 『粟田口鑑定折紙』 小森新之丞
- [211] 128-6 明治28・1 新富座 『粟田口鑑定折紙』 小森新之丞
- [212] 128-7 明治28・1 新富座 『粟田口鑑定折紙』 小森新之丞
- [213] 026-4 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 岩藤の亡霊
- [214] 027-1 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 岩藤の亡霊
- [215] 027-4 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 岩藤の亡霊
- [216] 028-1 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 鳥居又助
- [217] 028-3 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 鳥居又助
- [218] 028-4 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 鳥居又助
- [219] 028-7 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 鳥居又助
- [220] 028-9 明治28・4 新富座 『加賀見山再岩藤』 鳥居又助

[165]	117-1	明治25・10	歌舞伎座『関原誉凱歌』	進藤三左衛門
[166]	118-4	明治26・1	歌舞伎座『安政三組盃』	别当幸吉
[167]	118-5	明治26・1	歌舞伎座『安政三組盃』	别当幸吉
[168]	118-6	明治26・1	歌舞伎座『安政三組盃』	别当幸吉
[169]	118-7	明治26・1	歌舞伎座『安政三組盃』	别当幸吉
[170]	119-2	明治26・1	歌舞伎座『奴胤廓春風』	奴胤
[171]	022-2	明治26・3	歌舞伎座『黒手組一对白柄』	黒手組助六
[172]	022-3	明治26・3	歌舞伎座『黒手組一对白柄』	黒手組助六
[173]	119-4	明治26・3	歌舞伎座『東鑑拝賀卷』	公晓禅司
[174]	119-5	明治26・3	歌舞伎座『東鑑拝賀卷』	公晓禅司
[175]	029-4	明治26・5	歌舞伎座『梅雨小袖昔八丈』	髪結新三
[176]	030-2	明治26・5	歌舞伎座『梅雨小袖昔八丈』	髪結新三
[177]	030-3	明治26・5	歌舞伎座『梅雨小袖昔八丈』	髪結新三
[178]	071-1	明治26・5	歌舞伎座『十二时会稽曾我』	曾我十郎
[179]	071-4	明治26・5	歌舞伎座『十二时会稽曾我』	曾我十郎
[180]	071-5	明治26・5	歌舞伎座『十二时会稽曾我』	曾我十郎
[181]	071-7	明治26・5	歌舞伎座『十二时会稽曾我』	曾我十郎
[182]	071-8	明治26・5	歌舞伎座『十二时会稽曾我』	曾我十郎
[183]	120-2	明治26・7	歌舞伎座『榛名梅香团扇画』	安中草三
[184]	121-1	明治27・1	歌舞伎座『夢結蝶鳥追』	雪駄直し長五郎
[185]	121-2	明治27・1	歌舞伎座『夢結蝶鳥追』	雪駄直し長五郎
[186]	121-6	明治27・1	歌舞伎座『明烏夢泡雪』	春日屋時次郎
*[187]	〈5〉	明治27・1	歌舞伎座『夢結蝶鳥追』	雪駄直し長五郎
[188]	122-2	明治27・2	歌舞伎座『本朝廿四孝』	八重垣姫
[189]	122-4	明治27・2	歌舞伎座『本朝廿四孝』	八重垣姫
[190]	092-4	明治27・3	歌舞伎座『嫗山姥』	煙草屋源七
[191]	092-5	明治27・3	歌舞伎座『嫗山姥』	煙草屋源七
[192]	123-1	明治27・3	歌舞伎座『都鳥廓白浪』	忍の惣太

- [137] 107-5 明治24・5 新富座 『花吹雪岩倉宗玄』 北岩倉の宗玄
 [138] 107-6 明治24・5 新富座 『花吹雪岩倉宗玄』 北岩倉の宗玄
 [139] 045-5 明治24・6 中村座 『碁盤忠信源氏礎』 江間四郎義時
 [140] 073-3 明治24・6 市村座 『水天宮利生深川』 船津幸兵衛
 [141] 073-4 明治24・6 市村座 『水天宮利生深川』 船津幸兵衛
 [142] 073-6 明治24・6 市村座 『水天宮利生深川』 小天狗要次郎
 [143] 080-1 明治24・7 市村座 『絵本太功記』 武智十次郎
 [144] 108-1 明治24・12 深野座 『鬼一法眼三略巻』 鬼一法眼
 [145] 108-3 明治24・12 深野座 『鬼一法眼三略巻』 鬼一法眼
 [146] 111-1 明治24・12 深野座 『雪礫巖石橋』 親獅子
 [147] 111-2 明治24・12 深野座 『雪礫巖石橋』 親獅子
 * [148] 〈3〉 明治24・12 深野座 『雪礫巖石橋』
 [149] 112-2 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 [150] 112-3 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 [151] 112-4 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 [152] 112-5 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 [153] 112-6 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 [154] 112-7 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 * [155] 〈4〉 明治25・1 歌舞伎座 『塩原多助一代記』 塩原多助
 [156] 113-2 明治25・7 歌舞伎座 『怪異談牡丹灯籠』 相川孝助
 [157] 114-1 明治25・7 歌舞伎座 『怪異談牡丹灯籠』 関口屋伴蔵
 [158] 114-2 明治25・7 歌舞伎座 『怪異談牡丹灯籠』 関口屋伴蔵
 [159] 114-4 明治25・7 歌舞伎座 『怪異談牡丹灯籠』 関口屋伴蔵
 [160] 114-5 明治25・7 歌舞伎座 『怪異談牡丹灯籠』 関口屋伴蔵
 [161] 114-6 明治25・7 歌舞伎座 『怪異談牡丹灯籠』 関口屋伴蔵
 [162] 115-2 明治25・7 歌舞伎座 『枕慈童』 菊慈童
 [163] 116-4 明治25・9 歌舞伎座 『仕立卸薩摩上布』 萱田八右衛門
 [164] 116-7 明治25・9 歌舞伎座 『仕立卸薩摩上布』 萱田八右衛門

- [109] 051-5 明治23・11 歌舞伎座『天衣紛上野初花』片岡直次郎
- [110] 103-1 明治23・11 歌舞伎座『戻橋恋迺角文字』小百合
- [111] 103-2 明治23・11 歌舞伎座『戻橋恋迺角文字』小百合
- [112] 103-4 明治23・11 歌舞伎座『戻橋恋迺角文字』小百合
- [113] 104-3 明治23・11 歌舞伎座『奥州安達原』 袖菘
- [114] 104-4 明治23・11 歌舞伎座『奥州安達原』 安倍貞任
- [115] 033-2 明治23・12 新富座 『佐野経世誉免状』小仏藤六
- [116] 033-5 明治23・12 新富座 『佐野経世誉免状』佐野源左衛門経世
- [117] 033-6 明治23・12 新富座 『佐野経世誉免状』佐野源左衛門経世
- [118] 033-7 明治23・12 新富座 『佐野経世誉免状』佐野源左衛門経世
- *[119] 〈1〉 明治23・12 新富座 『佐野経世誉免状』佐野源左衛門経世
- [120] 056-4 明治24・1 歌舞伎座『祇園祭礼信仰記』木下藤吉郎
- [121] 056-5 明治24・1 歌舞伎座『祇園祭礼信仰記』木下藤吉郎
- [122] 056-7 明治24・1 歌舞伎座『祇園祭礼信仰記』木下藤吉郎
- [123] 056-8 明治24・1 歌舞伎座『祇園祭礼信仰記』木下藤吉郎
- [124] 105-1 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- [125] 105-2 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- [126] 105-3 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- [127] 105-4 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- [128] 105-5 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- [129] 105-6 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- *[130] 〈2〉 明治24・1 歌舞伎座『鼠小紋春着雛形』鼠小僧
- [131] 106-1 明治24・1 歌舞伎座『だんまり』 天明太郎
- [132] 106-2 明治24・1 歌舞伎座『風船乗評判高閣』スペンサー
- [133] 106-3 明治24・1 歌舞伎座『風船乗評判高閣』スペンサー
- [134] 106-4 明治24・1 歌舞伎座『風船乗評判高閣』スペンサー
- [135] 107-2 明治24・5 新富座 『御所模様萩葵葉』加倉湖五郎
- [136] 107-4 明治24・5 新富座 『花吹雪岩倉宗玄』北岩倉の宗玄

- [81] 091-2 明治21・11 中村座 『偽博多独鈷菊菱』 源氏車の三吉
- [82] 092-1 明治21・12 新富座 『嫗山姥』 八重桐
- [83] 091-6 明治22・ 1 市村座 『彦山権現誓助刀』 おその
- [84] 091-7 明治22・ 1 市村座 『彦山権現誓助刀』 おその
- [85] 006-5 明治22・ 3 桐座 『仮名手本忠臣蔵』 大星由良之助
- [86] 006-6 明治22・ 3 桐座 『仮名手本忠臣蔵』 大星由良之助
- [87] 007-1 明治22・ 3 桐座 『仮名手本忠臣蔵』 早野勘平
- [88] 008-4 明治22・ 3 桐座 『仮名手本忠臣蔵』 加古川本蔵
- [89] 038-7 明治22・11 歌舞伎座 『俗説美談黄門記』 藤井紋太夫
- [90] 038-8 明治22・11 歌舞伎座 『俗説美談黄門記』 藤井紋太夫
- [91] 038-9 明治22・11 歌舞伎座 『俗説美談黄門記』 藤井紋太夫
- [92] 094-2 明治22・12 桐座 『鈴森対港杭』 白井権八
- [93] 094-3 明治22・12 桐座 『鈴森対港杭』 白井権八
- [94] 094-4 明治22・12 桐座 『鈴森対港杭』 白井権八
- [95] 097-1 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 天野八郎
- [96] 097-3 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 天野八郎
- [97] 097-4 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 天野八郎
- [98] 097-5 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 越前屋佐兵衛
- [99] 097-6 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 越前屋佐兵衛
- [100] 097-7 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 天野八郎
- [101] 097-8 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 天野八郎
- [102] 097-9 明治23・ 5 新富座 『臯月晴上野朝風』 篠原國基
- [103] 098-1 明治23・ 5 新富座 『勸進帳』 源義経
- [104] 098-2 明治23・ 5 新富座 『勸進帳』 源義経
- [105] 098-4 明治23・ 5 新富座 『勸進帳』 源義経
- [106] 102-1 明治23・ 6 新富座 『保名狂乱』 安倍保名
- [107] 053-5 明治23・ 7 市村座 『島衛月白浪』 明石島蔵
- [108] 051-4 明治23・11 歌舞伎座 『天衣紛上野初花』 片岡直次郎

- [53] 081-3 明治20・3 千歳座 『国姓爺理髮姿見』 髪結藤次
- [54] 001-1 明治20・4 千歳座 『土蜘蛛』 土蜘蛛の精
- [55] 002-2 明治20・4 千歳座 『土蜘蛛』 僧智籌
- [56] 002-7 明治20・4 千歳座 『土蜘蛛』 土蜘蛛の精
- [57] 002-9 明治20・4 千歳座 『土蜘蛛』 土蜘蛛の精
- [58] 078-7 明治20・6 新富座 『西東恋取組』 極印千右衛門
- [59] 083-2 明治20・7 中村座 『五十三駅扇宿附』 老婆おつた実は怪猫
- [60] 083-3 明治20・7 中村座 『五十三駅扇宿附』 老婆おつた実は怪猫
- [61] 083-5 明治20・7 中村座 『五十三駅扇宿附』 狩人繁蔵
- [62] 003-5 明治21・3 新富座 『裏表伊達染小袖』 仁木弾正
- [63] 004-2 明治21・3 新富座 『裏表伊達染小袖』 政岡
- [64] 086-5 明治21・4 中村座 『腹鼓祝開橋』 麵麴売寿町の太の吉
- [65] 087-2 明治21・4 中村座 『月梅薫臙夜』 金井おくめ
- [66] 087-4 明治21・4 中村座 『月梅薫臙夜』 金井おくめ
- [67] 087-6 明治21・4 中村座 『月梅薫臙夜』 金井おくめ
- [68] 046-7 明治21・6 中村座 『菅原伝授手習鑑』 松王丸
- [69] 070-4 明治21・6 新富座 『夜討曾我裾野誉』 曾我十郎
- [70] 070-5 明治21・6 新富座 『夜討曾我裾野誉』 曾我十郎
- [71] 088-1 明治21・6 中村座 『葱墳結梅実』 法界坊
- [72] 088-3 明治21・6 中村座 『葱墳結梅実』 法界坊
- [73] 088-4 明治21・6 中村座 『葱墳結梅実』 法界坊
- [74] 088-5 明治21・6 中村座 『葱墳結梅実』 法界坊
- [75] 088-6 明治21・6 中村座 『双面流月影』 野分姫の霊
- [76] 089-2 明治21・7 新富座 『矢矧日吉月弓張』 猿之助
- [77] 090-1 明治21・10 中村座 『一谷嫩軍記』 敦盛実は小次郎
- [78] 090-2 明治21・10 中村座 『一谷嫩軍記』 敦盛実は小次郎
- [79] 090-3 明治21・10 中村座 『一谷嫩軍記』 弥陀六実は宗清
- [80] 090-3 明治21・10 中村座 『一谷嫩軍記』 弥陀六実は宗清

- [25] 015-3 明治17・2 新富座 『小袖曾我薊色縫』 清心
- [26] 074-1 明治18・11 千歳座 『四千両小判梅葉』 野州の富蔵
- [27] 074-2 明治18・11 千歳座 『四千両小判梅葉』 野州の富蔵
- [28] 074-3 明治18・11 千歳座 『四千両小判梅葉』 野州の富蔵
- [29] 074-4 明治18・11 千歳座 『四千両小判梅葉』 野州の富蔵
- [30] 074-5 明治18・11 千歳座 『四千両小判梅葉』 野州の富蔵
- [31] 074-6 明治18・11 千歳座 『四千両小判梅葉』 野州の富蔵
- [32] 075-1 明治19・3 千歳座 『盲長屋梅加賀鳶』 加賀鳶梅吉
- [33] 075-3 明治19・3 千歳座 『盲長屋梅加賀鳶』 加賀鳶梅吉
- [34] 075-4 明治19・3 千歳座 『盲長屋梅加賀鳶』 加賀鳶梅吉
- [35] 075-5 明治19・3 千歳座 『盲長屋梅加賀鳶』 加賀鳶梅吉
- [36] 076-2 明治19・5 千歳座 『恋闇鶉飼療』 鶉遣い甲作
- [37] 076-3 明治19・5 千歳座 『恋闇鶉飼療』 鶉遣い甲作
- [38] 076-4 明治19・5 千歳座 『恋闇鶉飼療』 鶉遣い甲作
- [39] 076-5 明治19・5 千歳座 『初幟柏葉重』 高砂尉
- [40] 076-6 明治19・5 千歳座 『初幟柏葉重』 行列奴音平
- [41] 077-1 明治19・11 千歳座 『月白刃梵字彫物』 梵字徳次郎
- [42] 077-2 明治19・11 千歳座 『鳴響茶利音曲馬』 一本足ミストルハーパル
- [43] 077-4 明治19・11 千歳座 『鳴響茶利音曲馬』 象遣いミストルアバデ
- [44] 077-5 明治19・11 千歳座 『鳴響茶利音曲馬』 象遣いミストルアバデ
- [45] 086-1 明治20・1 中村座 『因幡小僧雨夜嘶』 小間物屋才次郎
- [46] 086-2 明治20・1 中村座 『因幡小僧雨夜嘶』 斎心実は才次郎
- [47] 012-2 明治20・2 千歳座 『梅春侠客御所染』 百合の方
- [48] 012-3 明治20・2 千歳座 『梅春侠客御所染』 百合の方
- [49] 012-6 明治20・2 千歳座 『梅春侠客御所染』 御所五郎蔵
- [50] 012-9 明治20・2 千歳座 『梅春侠客御所染』 御所五郎蔵
- [51] 078-1 明治20・3 新富座 『戻鴛色相肩』 吾妻の与四郎
- [52] 081-2 明治20・3 千歳座 『国姓爺理髪姿見』 髪結藤次

東京文化財研究所芸能部所蔵

五代目尾上菊五郎舞台扮装写真一覧

- | | | | | | |
|-------|-------|---------|-----|-----------|--------|
| [1] | 040-6 | 明治11・3 | 新富座 | 『西南雲晴朝東風』 | 簗原国元 |
| [2] | 045-3 | 明治14・3 | 新富座 | 『鋳引』 | 三保谷四郎 |
| [3] | 045-4 | 明治14・3 | 新富座 | 『鋳引』 | 三保谷四郎 |
| [4] | 051-2 | 明治14・4 | 新富座 | 『天衣紛上野初花』 | 片岡直次郎 |
| [5] | 052-1 | 明治14・7 | 新富座 | 『古代形新染浴衣』 | 大工六三 |
| [6] | 052-3 | 明治14・7 | 新富座 | 『古代形新染浴衣』 | 大工六三 |
| [7] | 053-1 | 明治14・11 | 新富座 | 『島衛月白浪』 | 明石島蔵 |
| [8] | 053-2 | 明治14・11 | 新富座 | 『島衛月白浪』 | 明石島蔵 |
| [9] | 056-2 | 明治16・1 | 新富座 | 『祇園祭礼信仰記』 | 木下藤吉郎 |
| [10] | 055-5 | 明治16・4 | 新富座 | 『石魂録春高麗菊』 | 瀬川采女 |
| [11] | 057-1 | 明治16・4 | 新富座 | 『茨木』 | 茨木童子 |
| [12] | 057-4 | 明治16・4 | 新富座 | 『茨木』 | 茨木童子 |
| [13] | 062-1 | 明治16・8 | 新富座 | 『小夜砧宇都谷峠』 | 文弥 |
| [14] | 062-2 | 明治16・8 | 新富座 | 『小夜砧宇都谷峠』 | 文弥 |
| [15] | 062-7 | 明治16・9 | 市村座 | 『今文覚助命刺繍』 | 不動の文治 |
| [16] | 063-1 | 明治16・10 | 新富座 | 『千種花音頭新唄』 | 福岡貢 |
| [17] | 063-5 | 明治16・10 | 新富座 | 『千種花音頭新唄』 | 福岡貢 |
| [18] | 063-6 | 明治16・10 | 新富座 | 『千種花音頭新唄』 | 福岡貢 |
| [19] | 016-5 | 明治16・11 | 市村座 | 『増補天竺徳兵衛』 | 天竺徳兵衛 |
| [20] | 017-1 | 明治16・11 | 市村座 | 『増補天竺徳兵衛』 | 天竺徳兵衛 |
| [21] | 017-2 | 明治16・11 | 市村座 | 『増補天竺徳兵衛』 | 座頭徳市 |
| [22] | 017-3 | 明治16・11 | 市村座 | 『増補天竺徳兵衛』 | 座頭徳市 |
| [23] | 017-6 | 明治16・11 | 市村座 | 『増補天竺徳兵衛』 | 不破伴左衛門 |
| [24] | 017-7 | 明治16・11 | 市村座 | 『増補天竺徳兵衛』 | 不破伴左衛門 |

ただし、慎重に選ばれた『五世尾上菊五郎』収録写真の資料的価値が、未収録のそれに比して著しく劣っている訳ではない。歌舞伎研究において写真資料が注目されるようになったのは近年のことであり、現存する明治期の古写真について、その調査は十分に進んでいない。そもそも『五世尾上菊五郎』収録されたものの内、明治初期の写真は別格として、どれが同書以外には滅多に得られぬものであるのかすら判然とはしていない。五代目菊五郎の舞台扮装写真413点（414枚）は、他の所蔵機関と比較しても相当な規模であるといえる。しかも、単に点数が多いだけでなく、状態も良好であることは、本誌に掲出した図版でも確認できるであろう。昭和初頭、安部豊が収集した写真の半数が「複写の困難なほど色褪せたもの」であったことを考え合わせると、ある意味、選りすぐりのコレクションなのである。それらによって『五世尾上菊五郎』収録中、約四割の現存を確認できるという意義は測り知れないものがあるといえるだろう。

26年の時点で際物として取り上げられるほどダーク一座の評判が高かったと判断してよいものなのか、錦絵『鈴音真似操』の発行年の表記に混乱があるのか、そのいずれとも判断できないのである。ちなみに、大阪では明治30年11月に中座で興行している（『近代歌舞伎年表大阪篇』第3巻）。東京での公演が関西圏に先行していたようである。

勿論、[415]と錦絵『鈴音真似操』はただ単に似ているだけで、別の舞台であったという可能性も依然として皆無ではないだろう。後考を俟つことにしたい。

(5)

五代目菊五郎の舞台扮装写真、取り分け明治15年頃から以降の原板に関しては、大正12年に「悉く震災で失はれた」とされている。現存する写真は、オリジナルからの転写複製を除外すれば、ほぼ震災以前に焼き付けられたものということになる。

六代目菊五郎が安部豊に写真集の編纂を委嘱したのは、前出「本書刊行に就いて」によれば、昭和5年であったという。『五世尾上菊五郎』刊行までに収集された写真は「三千余枚」。現在の東京は、さらに戦災を経ている。活動の中心を東京に置いていた五代目菊五郎の明治期の古写真「三千余枚」という数は、仮に延べ数であったにせよ、今日では収集することはおろか、現物確認すら容易には達成できないものであろう。

『五世尾上菊五郎』は今となってはほとんど到達不可能となった収集内容を誇る。そこに収録されていなかった10点が、東京文化財研究所芸能部所蔵写真には含まれていたのがあった。『五世尾上菊五郎』未収録写真が同時に複数確認されるのは珍しい。これまでも五代目菊五郎の未収録写真については、岩田秀行「明治の古写真」によって計5点が紹介されてきている（『歌舞伎研究と批評』19号・23号・29号）。本誌に掲出した10点との重複はない。未収録写真はその全てが稀少価値の高い資料である。

とりあえず、撮影年代の上限は押さえることができる。写真左、洋装で腰を掛けているのは六代目尾上梅幸（1870-1934）であろう。六代目梅幸の初舞台（尾上栄之助を名乗る）は明治18年（1885）1月千歳座であった。撮影年月はそれ以降となる。

[415] は、ことによるとダークの足長人形の扮装写真であったかもしれない。『鈴音真似操』の錦絵（『国立劇場所蔵芝居版画等図録Ⅷ』所収）に描かれた菊五郎の足長人形「英国人」と似ているのである。この錦絵は表題に「市村座開場浄瑠璃狂言」とある。『鈴音真似操』の上演は明治27年（1894）7月、明治26年3月に焼失した市村座の新築落成興行の演目であった。錦絵の足長人形は左手に茶色い壺を持っている。これも『続々歌舞伎年代記』の短評「ビールを呑む可笑しみのうちに手軽な振り事が有て外に類なき面白みなり」と合致する。しかしながら、ひとつ問題がある。『鈴音真似操』の足長人形には、本誌の図版で紹介している1点の他に『五世尾上菊五郎』所収の写真が2点ある。それらの衣裳・化粧（図版[201]参照）が[415]とは全く異なっているのである。仮に[415]が足長人形であったとすると、両者の違いは、前半と後半で扮装を変えていたことを示すということにでもなるうか。とはいえ、『続々歌舞伎年代記』に拠れば、足長人形の他に菊五郎は骸骨の人形と寝台道化師の人形でも登場したことになっている（道化師の人形は『五世尾上菊五郎』に収録）。足長人形で扮装を変えるのは、いささか忙しないようにも思える。

あるいは、写真撮影を行い錦絵も版行された後で、演出が変更されたことを示しているのかもしれない。錦絵に記された発行年は明治26年となっている。[415]は、何らかの事情で実現しなかった『鈴音真似操』の扮装写真だったとも考えられるのである。しかし、ここでは別の問題が発生する。『鈴音真似操』は、当時大人気を博していた英国人ダークの操り人形を、常磐津と清元の掛合いに仕組んだ所作事であった。ダーク一座の東京蛸殻町春風館での初日は明治27年5月19日であり、同月26日の東京朝日新聞は「開場前に付込んで場所を取る程の景気なり」と報ずる（倉田善弘『明治の演芸（五）』）。今のところ、明治27年5月以前の上演記録を確認することができない。つまり、既に明治

る。ただし、厳密には同一写真ではない。[80]は、『五世尾上菊五郎』収録の[79]と比較して画像が不鮮明である上に、天地左右にトリミングが施されている。オリジナル写真から転写複製されたものなのであろう。両者は参考図版として掲出してある。同様に[283]羅漢も、『五世尾上菊五郎』との比較から、転写複製の可能性が高いと考えられる。[283]羅漢の図版掲出は省略した。

(4)

芸能部所蔵写真には、『五世尾上菊五郎』に未収録だったものが11点含まれている。所蔵一覧で、整理番号の前には*を、写真番号欄には〈通し番号〉を付したものである。この11点に関しては、全てを図版として掲出することとした。

個々の演目や扮装についての詳細は『五世尾上菊五郎』に譲り、ここではいくつか補足事項を記しておくことにしたい。

整理番号[148]は、菊五郎が親獅子を演じた「石橋」の時のものである。ただし、写っているのは子獅子を演じた二代目尾上菊之助と五代目尾上栄三郎(六代目尾上梅幸)の二人だけである。『五世尾上菊五郎』に収録されなかったのも蓋し当然であった。したがって、芸能部所蔵写真全415枚中、菊五郎の舞台扮装写真は413点(414枚)ということになる。[148]については、参考までに菊五郎扮する親獅子と三人で撮影されていた[146](『五世尾上菊五郎』に収録)をあわせて掲げておく。[148]では、右が菊之助、左が栄三郎であろう。

[201]はダークの足長人形で、西洋婦人の人形に扮しているのは、左が栄三郎(六代目梅幸)、右が『五世尾上菊五郎』によれば中村福芝である。

未収録写真の何点かは、構図の似通ったものが『五世尾上菊五郎』に収められている。具体例として、とくに酷似していた[266][267]を並べて掲出した。

[415]は、上演年月・名題等々を考証しきれなかった写真である。

確にすることはできない。

(3)

芸能部が所蔵する五代目菊五郎の舞台扮装写真414枚は、全て縦86mm×横58mm前後の手札型である。それらは元の台紙から剥離され、分類カード(東京国立文化財研究所時代に使用されていたもの)に貼付され直した形で、カードボックスに保管されていた。現在はフォトアルバムに収めている。

保存状態は概ね良好であり、画像全体で褪色が進んでしまった写真は皆無と
いってよい。購入(あるいは寄贈)の経緯や時期に関わる記録は残されていない。ただし、写真の状態にはほとんどばらつきがなく、また重複も1点2枚のみであったことから、その大部分は一括して所蔵されるに至ったのではないかと推測される。故浦山政雄演劇研究室長(後に芸能部長)在所期間中の昭和30年代・40年代のことであろう。

本稿の所蔵写真一覧は、次のような書式にしてある。

[整理番号] 写真番号 上演年月 劇場『名題』役名

整理番号は、今回所蔵を公表する写真の通し番号である。一覧に掲出した写真の配列は上演年月順としてある。

写真番号は『五世尾上菊五郎』における各写真の番号である。同書は、見開きで右頁に解説を、左頁に写真を掲載しており、各写真には解説に対応する番号が頁ごとに付されている。所蔵一覧での写真番号は、『五世尾上菊五郎』の頁数と各写真に付された番号を組み合わせたものである。写真番号が付されていない場合には、上段右の写真から左へ、次いで中段、下段と仮番号をアルファベット小文字で付している。

上演年月・劇場・名題・役名は、原則的に『五世尾上菊五郎』に拠っている。

なお、全415枚で重複していたのは、整理番号[79]と[80]の弥陀六であ

五代目菊五郎は「一つの役を様々な姿で」撮影していた。『五世尾上菊五郎』には、体の構え・手足の位置・小道具の持ち方やその有無等々の違いがあれば、同一興行の同一場面であり、差異がさほど目立つような写真ではなくても収録されている。これは、「原板は悉く震災で失はれた」という現実を受け、たとえ構図が似通っていても、複写可能な写真についてはでき得る限り収録に努めようとしていたことを物語っているのであろう。撮影された役名は、数え方にもよるが、300を下回ることはないと思われる。

いうまでもなく、舞台扮装写真の全てが『五世尾上菊五郎』に網羅されていない。同「本書刊行に就いて」には次のように記されている。

私の手元には全然役名不明の写真が二十六枚残つてゐます。明治初期のもので、古老先輩に聞いても確実に其役名が知れないため、遺憾ながら後日を期したのであります。また一枚きりの写真で、役名は判明してゐても、所謂厳選によりて掲載を見合はせた写真もありました。

取えて収録を見合わせた写真もあったのだった。言及されているのは、明治初期の役名未詳の写真26枚と、役名は判明しながらも「一枚きり」だった写真（役名と枚数は記していない）である。これらの他にも「複写の困難なほど色褪せたもの」だったために、収録を断念せざるを得なかった事例もあったに違いない。また、『五世尾上菊五郎』では、扮装写真の場合、1頁あたりの掲載枚数が最大で9枚（上段・中段・下段で各3枚）となっていた。そうした編集構成上の制約で割愛された写真もあったのではあるまいか。さらに安部豊自身「まだ洩れがあることゝと信じます」（同「本書刊行に就いて」）と述べている。編集時には入手していなかった写真を考慮すれば、『五世尾上菊五郎』未収録写真は少なく見積もっても数十点にはなるものと思われる。

五代目菊五郎の舞台扮装写真は、第二次世界大戦前、確認されていたものだけで1,000点以上は存在していたようである。ただし、様々な理由で『五世尾上菊五郎』には収められることのなかった写真について、その詳細な内容を明

るだけ集めて、一つの写真帖を刊行してみやうと企てました。

写真集刊行に向けて準備が始まったのは関東大震災後であった。当然のことながら、資料の収集は容易ではなかったらしい。

五代目の扮装写真は、震災のため東京市内には其数割合に乏しく、却つて地方にあることを知つて、名古屋、大阪方面にまで調べに行きました。惣じて明治十四五年前のもの極めて少なく、これの蒐集には新聞雑誌にも広告して、その所蔵者に借用を願ひましたが、それから以後のは、五代目の撮影所が、主として森山写真館に限られてゐたため、六分通りは同館焼付の写真によつて大体の形を整へることが出来ました。併し之れは震災前に、遠藤為春氏と外数氏が同館に注文して拵へたアルバムの写真で、原板は悉く震災で失はれたのであります。

……中 略……

今日現存する五代目の写真は、其九分九厘までは手札形の写真で、而も私の蒐めた三千余枚の約半数は、複写の困難なほど色褪せたもので、殊に大きい写真は極めて乏しく、従つて本書には一頁大、又はそれに準ずる位の写真が少ないのは、本の構成上から見て幾分の寂寥を感じるやうであります。併し量に於ては非常に多く、予定枚数の七百枚を突破すること三百枚以上で、此点は大写真の乏しかつたことのために、却つて内容を豊富ならしめたわけであります。

編纂を担当した安部豊による「本書刊行に就いて」の一節である。

刊行に際しては様々な方面から協力を仰いでいたようである。ここで報告されている収集総数「三千余枚」とは、異なりではなく延べ数であろう。『五世尾上菊五郎』には、その中から厳選された写真が収められている。収録枚数は「予定枚数の七百枚を突破すること三百枚以上」とあるように、1,000点を超えている。そのうち980点が舞台扮装写真であった。

(1)

東京文化財研究所芸能部には、歌舞伎役者五代目尾上菊五郎(1844-1903)の舞台扮装写真が413点(414枚)所蔵されている。現在、芸能部では音声資料を中心にデジタル化を進めているが、その対象をさらに広げるべく、所蔵写真資料のデータベース化にも着手している。今回、五代目菊五郎の明治期古写真についてはデータベース化の目途がたったことから、ひとまずその所蔵一覧を公表することとした。

なお、本誌に掲載した所蔵一覧では写真総数が415枚となっている。これは、関連写真ではありながら、五代目菊五郎自身は写っていないものが1枚含まれているためである。この点については後述する。

(2)

五代目菊五郎の舞台扮装写真は六代目尾上菊五郎監修『五世尾上菊五郎』(昭和10年2月刊)に集大成されている。三十三回忌追善にあわせて出版された写真集である。本書の刊行に至る経緯について、六代目菊五郎は序文の中で次のように述べている。

父は「芝居」が好きであつたと同時に、自分の舞台姿を写真に撮つて、それを眺めることが好きでありました。今日思ひ及ばぬ程の幼稚な技術を藉りて、一つの役を様々な姿で残しました。おそらく父ほど数限りなく其舞台姿を印画紙に残したものは他にないかと思ひます。

私共は此印画紙に残された父の芸術に接するたび、どんなに啓発され、どんなに激励されたか知れません。ところが不幸にも大正十二年の大震災で、この懐かしい形見、慕はしい俤のかずかずは失はれて了ひました。この掌中の玉をなくしたにまさる悲しさ淋しさから、私は再びそれらを出来

東京文化財研究所芸能部所蔵

五代目尾上菊五郎舞台扮装写真

飯島 満
埋 忠 美 沙

GEINO NO KAGAKU

Journal of the National Research Institute
for Cultural Properties, Tokyo
(Department of Performing Arts)
Number 33
2006

Publisher:
National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo
13-43 Ueno Park, Taito-ku, Tokyo, 110-8713, Japan

芸能の科学 33	平成十八年三月二十五日 印刷	平成十八年三月三十一日 発行	編集	編集委員	発行
独立行政法人文化財研究所	東京文化財研究所	『芸能の科学』編集委員会	演劇研究室長 鎌倉 恵子	音楽舞踊研究室長 高桑 いづみ	民俗芸能研究室長 宮田 繁幸
成城大学講師 星野 紘	法政大学能楽研究所 山中 玲子	独立行政法人文化財研究所	東京文化財研究所	東京文化財研究所	〒110-0187 三
東京都台東区上野公園一三―四三	電話 〇三(三八三三) 二二四一番				

© 独立行政法人文化財研究所
東京文化財研究所 2006

National Research Institute for
Cultural Properties, Tokyo